



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第22号 会報

定価：一部100円

理事長 島しづ子より	P1
法人5周年記念イベント報告／小窓から	P2
愛実友だちの家のページ	P3～4
大地の家のページ	P5～6
紙風船のページ	P7～10
食を囲む／南 寿樹	P11
寄付者名簿	P12



愛実の会5周年記念イベント
2012.07.21
名古屋国際会議場にて



ベン・シャーンの思想にみる平和への道

理事長 島 しづ子

今から 58 年前の 1954 年 3 月 1 日、ビキニ環礁で「ブラボー」と呼ばれる水爆実験が行われました。広島原爆の 1,000 倍のウルトラ水爆だったそうです。実験場所から 180Km 離れたロンゲラップ島には、激しい衝撃波と爆風、放射能を含んだ珊瑚の粉が島中に降り積もりました。島民は激しい嘔吐、皮膚の炎症、脱毛、急性放射能障害に襲われたそうです。ただちに島を移り、3 年後に島に戻りましたが、汚染されたヤシガニやパンの実、魚によって内部被曝による病気や障がい相次ぎ、島を離れ、1985 年には故郷を 200Km 離れたメジャット島に住んでいるそうです。アメリカは 1946 年から 13 年間でビキニ、エニウトクで 66 回の核実験を行ったそうです。

ビキニにおける水爆実験はとんでもない悲劇をもたらしました。ビキニ周辺にマグロ漁に出ていた日本の漁船 1,000 隻以上が被曝しました。その一隻が第五福竜丸です。水爆実験の行われる危険海域の外にいたにもかかわらず、被曝しました。目の前に広がる爆発の様子、その後に彼らに襲った嘔吐、炎症、脱毛などに驚きながらも、船長の久保山愛吉さんたちは軍事秘密のような出来事に遭遇した自分たちが、SOS を出したら、亡き者にされるかもしれないことを怖れて、ひたすら日本に急ぎました。帰国後、第五福竜丸の乗組員は丁寧な看護を受けたようですが、久保山愛吉さんは 40 歳でその年の 9 月 23 日に死亡。彼の残した言葉は「原水爆による犠牲者は私で最後にして欲しい」だったそうです。彼が残した三人の幼い子どもさん、お連れ合いさんを思うと辛いですね。他の漁船の被曝者たちは会社の事情や仕事の無くなることをおそれて被曝を隠して働き、体調が悪化してからも一切の補償もされなくて亡くなった方も多そうです。

私がビキニ環礁における水爆実験と第五福竜丸のことを調べるきっかけは「ベン・シャーン」という画家を知ったからでした。ベン・シャーンは第五福竜丸の出来事を「ラッキー・ドラゴン」シリーズとして発表しています。そこには被曝した久保山さんや彼の故郷焼津、水爆の様子などが描かれています。奇しくもその作品は福島県美術館に所蔵されています。ベン・シャーンは 1898 年にリトアニアでユダヤ系リトアニア人として生まれ、7 歳の時にアメリカに移民、後に 20 世紀アメリカを代表する画家になりました。1969 年 3 月 14 日に亡くなっています。彼は 1920 年に米マサチューセッツ州で起きた冤罪事件「サッコとバンゼッティ事件」をテーマに、「サッコとバンゼッティの受難」という絵を描きました。真犯人ではないのに処刑されてしまった二人の棺と裁判に関わった裁判官などの三人が描かれています。その事件は後に「死刑台のメロディ」と題する映画になったそうです。ジョン・バエズ & エンリコ・モリコーネによる歌もあります。

イタリア移民のサッコとバンゼッティの悲劇を自分のことのように憤り、水爆実験の被害者に寄り添った彼の中には、ユダヤ人として受けさせられた民族の記憶もあったのではないかと想像します。何故人間が人間にひどいことをし、一緒に歩めないのか？彼の作品に、二人の男が互いに背中を向け合って、自分の手を硬く閉じている絵があります。他方、その手と手が結ばれていく絵もあり、また、二人の人が抱擁している絵もあります。そして私が大事にしたい作品は「詩編 133 編」(福島美術館所蔵)です。黒い鳩と白い鳩が向かい合っている絵です。そこに英語で「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。」という詩編 133 編が手書きで描かれています。それは人間の悲劇を見続けてきたベン・シャーンが描いた理想郷です。肌の色も思想も生まれも違っていても共に座り続けていくこと、共に手を握り合っていくこと。そこにこそ、現代社会が抱えてしまった悲劇を解決する道がある！と彼は言いたかったのではないかと思います。愛実の会も互いの違いを越えて、互いに尊重しながら助け合って生きて行きたいと切に願っています。

NPO 法人愛実の会 5周年記念イベント報告

7月21日(土) 名古屋国際会議場にて5周年の記念イベントが開催されました。参加者は愛実の会の前身からの様々な協力者をはじめ、各関係団体の方々にメンバーと家族・アシスタントを含め総勢140名となりました。

まず各部署からの発表では、紙風船の人形劇に始まり広々とした会場にいつもと違う緊張感の中で、演じるメンバーの熱演に「ありがとう」のメッセージが私たちの心に響く感動を覚えました。そして、愛実友だちの家・大地の家と5年間の軌跡が大きなスクリーンに映し出され、一人ひとりの笑顔いっぱいのスライドショーが繰り広げられました。改めてメンバーの笑顔こそが愛実の会の宝なんだなあ…と心から思いました。

最後は愛実の会の発足当初からボランティアとしての関わりの深いみどりファミリーの演奏家の皆さんが、素敵なお歌と演奏のプレゼントを下さいました。天使の歌声にピアノとバイオリンの音色、会場全体を温かく包み込み5周年のイベントが大盛況で無事に終幕することができました。

私たちは本当に多くの協力者に恵まれ、今日を迎えることができました。本当に感謝です。ありがとうございました。そして、今回のイベントは愛実の会の正会員の集まりである定例会から実行委員会を立ち上げて準備を進めてまいりました。特に家族の方からの参加の呼びかけを行い、愛実の会全体でお祝いが出来たことは、とても有意義であったと思います。継続は力なり！ 今後、～10年～将来に向かって愛実の会全体が盛り上がり、多くの方々と共鳴しながら共に歩いていけることを心より願います。

5周年イベント実行委員 戸田真二



「小窓から」 15

大野 義徳

ロンドン・オリンピックに続いて、パラリンピックが始まった。熱戦が繰り広げられ、メダル獲得に拍手を送り、惜しくも届かない選手に涙する方も多と思う。私自身、オリンピックよりも少ない放映時間や報道数に不満を持ちながらも、熱戦観戦を楽しみにしている。

先天性の障がいや事故などでの後天的な障がいがありながらも、超人的な力を発揮している姿には、素直に感動する。すごいなあ、と思う。励まされる場所も大きい。ただ懸念するのは、「頑張る障がい者」という見方をされがちなことだ。

オリンピックで、「頑張る健常者」なんていうだろうか。そんな妙なレッテルは貼らない。パラリンピックにしても、「障がいを乗り越えて」という感動を押し付けるようなマスコミ論調も嫌いだ。選手たちのように頑張れる障がい者ばかりじゃないって意見もある。障がい者＝努力→感動って図式は、ごくごく一部だろう。

がんばれない、けど生きてる。感動なんて無い、けど生きてる。そんな障がい者がほとんどのじゃないかな。これは健常者も同じこと。「生きてる」ことそのものに目を向けなきゃ、って思う。たとえ何の取り柄もなくても、すごいじゃんって。

愛実友だちの家のページ

(P3~4)

暦の上ではもう秋なのに、まだまだ暑い日が続きます。あみともはというと、部屋の中で遊んだり、時折テラスに出てみたりと、ひきこもりがちではあるものの、季節感を感じながら楽しく過ごせるよう努めています。今回はそんな活動の様子をいくつかご紹介します。

金星の日面通過を見よう



レアな天体ショーが続いた今年。金環日食は時間の都合で見ることができなかったため、あみともの壁にプロジェクタで映像を映し、みんなで鑑賞しつつお勉強。綺麗なリングが出来る様子を捉えた映像に、神秘的な美しさを感じウットリしたものの、やはり直接見られなかったことにちょっと残念な思いをしていました。



そんなとき、今度は金星の日面通過がある、ということを知り、今度こそ見なくては！と意気込みながら外へ向かったあみともの面々。大きなサングラスのような日食グラスをメンバーにつけてもらおうと、可愛らしいようなおもしろいような…。普段見慣れない姿に、思わず笑ってしまいました。でもみんな似合っていましたよ！



金星の日面通過は、太陽と金星と地球が一直線に並んだ時に観測されるもので、基本的には日食と同じ現象だそうですが、金星は月より地球からの距離が離れているので黒い点のように見えるそう。目をこらしてよく見ないとわからないくらいで、メンバーには少し伝わりづらかったかもしれませんが、メガネ越しの太陽を楽しむメンバーや、はしゃぐアシスタントを見て笑うメンバーなど、それぞれが楽しい雰囲気でも過ごすことが出来たようです。次回の日面通過はなんと115年後とのこと。貴重な瞬間をメンバーと共有出来たことを嬉しく思いました。

七夕を楽しもう



笹と七夕飾りがあるだけで部屋の雰囲気がガラリと変わる七夕は、毎年楽しみな行事の一つです。今年はドライバーNさんが大きな笹を持ってきてくださったので、メンバーそれぞれがアシスタントと相談しながら、短冊にお願いごとを書きました。「遠足を楽しみたい」や「たくさんお出かけしたい」など、いろいろなお願いごとがある中で、意外にも多かったのは「他のメンバーと仲良くしたい」というもの。普段は他人にあまり興味がなさそうに見えるメンバーも、しっかり仲間を意識してくれているのだなぁと感じ、嬉しくなりました。

また、七夕スイーツとして「とろなまドーナツ」を手作り。星を象ったキウイを入れて天の川風にするつもりだったのに、思いのほかドーナツ型が小さく泣く泣く断念。七夕感は薄れてしまったけれど、みんなで頑張って美味しく完成♪ 喜んで食べてくれている甘党メンバーたちを見てホッとしました。年に一度のみんなのお願いごとが叶いますように☆



水鉄砲を作ろう

毎月の創作活動として、季節に合わせた部屋の飾りを作ることが多いのですが、今回はちょっと趣向を変えて、間近に迫ったプール活動に向けオリジナル水鉄砲を作ることになりました。よくある形状の水鉄砲の引きがねは、あみともメンバーにとっては少し引きづらいため、今回は押すと簡単に水が出るプラスチックの調味料入れを利用した水鉄砲作りに挑戦しました。お好み焼きマヨネーズ用の容器や醤油さしなど、さまざまな形の容器の中からメンバーに使いたいものを選んでもらい、ビニールテープやシールでデコレーション。どれにしようかな?と様々な種類のシールを見比べたり、空の容器を押してエア鉄砲で遊んだり、楽しみながらの作業となりました。メンバーそれぞれがアシスタントと相談して試行錯誤しながら、世界にひとつのオリジナル水鉄砲が完成。シールとテープでにぎやかに彩られた水鉄砲は、見ていなくてもボールが楽しみになってきます♪ 余った時間には、防水折り紙でボートやヨットも作り、準備は万端。肝心の遊び心地は…以下のプールの記事でお伝えします!



プールで遊ぼう

毎年恒例のプール活動。デイセンターにお引っ越ししてからは、お部屋の目の前のテラスで大きなビニールプールを広げて遊べるようになったので、のびのびとプールを楽しんでいます。今年はなんと計4回の実施。残念ながら見学で足をつけるだけ…というメンバーもいましたが、あみともメンバー全員がプール活動に参加出来ました☆ 身体が冷えないよう、温かめのお湯を張ったプールに、メンバーはお風呂気分ですリラックス出来た様子。身体をゆらゆらさせて水泳気分を楽しんだり、水しぶきをたててみたり、金魚すくいで遊んでみたり…とプールを満喫していました。みんなで作った水鉄砲はというと、水の勢いがイマイチだったり、すぐ水が出なくなってしまう…とまだまだ改善の余地がありそうでしたが、メンバー同士で水をかけ合ったり、見学しているメンバーもプールの外から狙ったりして、楽しく遊ぶことが出来ました。また来年も夏が楽しみになりそうです♪



QRコード

日々の様子を綴ったブログ更新中です★
<http://amitomo07.blog.fc2.com/>

夏だ！元気だ！大地だ！

(P5~6)

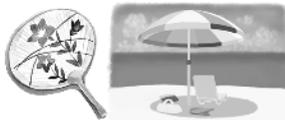
大地の家のページ

今年も連日の猛暑を迎えた暑い夏でした。

皆さま、夏をどう過ごされましたか？こんなに暑くては外にも出たくない…そんな声も聞こえてきそうですが、大地の家は一味違います！

夏だからこそそのレジャー…暑さを吹き飛ばす「プール」を始めとして、夏定番の「海水浴」、日本伝統「流しそうめん」「花火」「夏祭り」、果ては熱狂「プロ野球観戦」まで…。ひと夏で詰め込めるだけ詰め込みました♥

今回は見どころいっぱい「2012年大地の夏」をご報告いたします♪



海&プール外出



今年は合計で4回もの海&プール外出をしました。冷たい水の中に最初は戸惑うメンバーでしたが、しだいに慣れていくと、自分から優雅に泳いでいました。どのメンバーも、水の中で浮くという感覚が新鮮なのか、とても良い表情をしています。その顔を見るとアシスタントも自然と笑顔に。メンバー&アシスタント全員が楽しい毎年恒例のお出かけです。



海へは、愛知県吉良町の「ワイキキビーチ」という浜辺まで海水浴に行きました。実は同じ計画を去年にも立てていたのですが、残念な事に台風の影響で中止に…。今年はリベンジを兼ねて気合いを入れ行ってきました。天気も夏らしい陽気で文句なし！生まれて初めて海水浴をするメンバーもいて、わくわくドキドキの外出でした。



夏祭り

毎年恒例、大地主催の「夏祭り」が今年もやってまいりました！食べ物屋台には「たこ焼き」「たい焼き」「たません」「わたあめ」、楽しいゲームは「的当て」「水風船」「宝くじ」「輪投げ」など盛りだくさん。去年よりも更にパワーアップしています。

メンバー&アシスタントも浴衣に法被に着替えて雰囲気作り。普段着なれない浴衣に袖を通すと、少し照れながらも嬉しそうな笑顔。みなさんととてもよく似合っていました。艶やかな色とりどりの衣装は見ている方も気分が踊ります♪

最初のうちは大地の家のメンバーで夏祭りを楽しみました。目の前で作った食べ物に舌鼓を打ち（どれも絶品！）、アシスタントの顔で作った的を当て（実は人気ゲーム）、たくさん遊びました。メンバーの笑顔が光る瞬間です。

その後は大地メンバーも店側に周り、お隣の部署「紙風船」をお招きしました。注文を受けたり、品物を渡したり…。やはり人気は「たこ焼き」などの食べ物…美味しい匂いにつられて屋台の前には行列が。大きな口を開けて美味しそうに食べていました♪

最後には、大地の家&紙風船全体で「大抽選会」を行いました。抽選BOXから番号の書かれたボールを掴み、景品を受け取っていきます。景品は豪華商品から残念賞まで一人一つありました。景品が読み上げられると歓声やら（少し）残念そうな声やら…。今回も夏祭りは大成功を収めました♪



流しそうめん&スイカ割り&花火



本日も晴天、この日は愛実の会のテラスにて「流しそうめん大会」を開催いたしました。次から次へと流れてくるそうめんを最初のうちは掬い辛そうにしながらか、次第にしっかりと見据えながら見事にキャッチしていくメンバー達です。

そして暑い夏にぴったりの、冷たいそうめんに出来たてバリバリの天ぷら…絶品の味にメンバーもアシスタントもモリモリと完食!



流しそうめんと同時進行で、隣りのテラスではスイカ割りを、駐車場で花火を行いました。メンバー渾身の力で叩きますが、大きなスイカはなかなか割れません…。それでも最後にぱっかりと割れ、赤い実が見えると周りからも大きな歓声が聞こえました。その後スイカは室内にて食べやすい大きさに切り分けられ、そうめんと一緒に美味しくいただきました♪

一方、「真昼の花火」というと…。普段は夜に行う花火ですが、昼にやるのもなかなか風情がありました。昼に花火というのが新鮮なのか、火花を見つめてニコニコ笑うメンバーや、少し煙たいようで顔を背けがちになるメンバーと反応は様々。しかしみんな楽しかったようで、「また花火やりたいね」と笑顔で「真昼の花火」を終えました。

毎年恒例の「流しそうめん大会」もこうして楽しく無事に過ごすことが出来ました。また来年も開催出来ればと考えています。

そして、協力してくださった沢山の方々はこの場をか借りましてお礼申し上げます。ありがとうございました!



プロ野球観戦

この夏最後の大会にして大地の家初の試み、ナゴヤドームでのプロ野球観戦に行ってきました。

中日ドラゴンズ高木守道監督と、板東英二さんが中心となって設立したNPO法人「モリミチ基金」が、ナゴヤドームで主催する無料招待のシート(通称モリミチシート)に応募したために実現した企画です♪

私達を含めた障がい者施設や児童養護施設の児童など、500人が無料で招待されました。メンバーやアシスタント達が身につけている背番号「88」のTシャツも、モリミチ基金さんより頂いたものです。ムードも出て応援の準備は万端!

メンバーは全員車椅子から、ドーム備えつけの椅子に移乗しました。主催者様側より配慮された比較的移乗しやすい席ではありましたが、やはり大変…。メンバー&アシスタントもお互いに協力し合って席に座ることができました。



この日のデーゲームは中日ドラゴンズVSヤクルトスワローズ。優勝を狙う選手とサポーターの熱気でドームのボルテージも最高潮! 大地の家メンバーとアシスタントも食い入るように試合の様子を見守ります。

試合終了後も、興奮冷めやらぬ様子の大地メンバー&アシスタント。滅多にない機会に感謝した一日でした。



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ (P7~10)

24時間テレビ草の根チャリティー参加

紙風船では8月25日(土)に金山駅にて「24時間テレビ草の根チャリティー募金」に参加してきました。

きっかけは、第二回交流会の内容を決めていくにあたり、ボランティアさんと一緒に何か外に出てできないかなあと考えたことでした。

また、以前から震災で被害にあわれた方たちに人形劇を見て笑顔になってもらえたらというメンバーたちの思いから、なかなか現地まで行く事は難しいけれど、今回の募金を通じて少しでも協力できたらという思いで参加を決めました。



当日は朝から雲ひとつない晴天、暑さがとても厳しい中の募金活動となりました。みんな24時間テレビのTシャツを身にまとい「ご協力お願いします」と通る人通る人に一生懸命呼びかけしました。

特に同朋大学から来てくれたボランティアの皆さんは本当に積極的に前に立って頑張って手伝って下さり、私達も元気づけられました。

午後からは中京テレビさんの取材も入り、呼びかけにも一段と力が入ります。

メンバーはインタビューにも堂々と答え、テレビ映りもバッチリ笑顔でした。

取材カメラに緊張しました！

大きなイベントへの参加、そして初めての外での募金活動という事もあり不安もありましたが、終わってみるとメンバーにとってもアシスタントにとっても、とても貴重な時間となりました。メンバー、ボランティアさん、アシスタントみんなが一つの事に一緒に取り組み、お互い協力して頑張れたことが何より嬉しかったです。また誰ひとり体調を崩すこともなく、無事に募金活動を終えることができました。



募金の合計金額は76,366円です。たった4時間でこれだけの募金が集まったことにビックリです。本当にご協力いただいた方に感謝しています。

そして私たちの思いが、一人でも多くの方の力になることを心より願っています！



缶バッチ制作中！

6月に缶バッチ作りの器械を一台追加購入し、少し大きめの缶バッチとキーホルダー型のバリエーションを増やしていく事にしました。またオリジナルの缶バッチの注文を受け、お客様のほしいデザインで作るなどの取り組みも行っています。今はまだなかなか販売する機会がありませんが、公演の際など積極的に販売していきたいと意気込んでせっせと作っています。皆さま興味がある方は一度ご連絡くださいね☆



現在、大バッチ、小バッチ、キーホルダーの3種類があります！

夢づくり基金ご協力のお願い

これまで「紙風船夢づくり基金」へのご寄付ありがとうございます。昨年度もたくさんの方のご支援をいただく事ができました。今後も、人形劇を行う上での費用として大切に活用し、またご報告していきたいと思えます。また、6月より振り込み用紙の通信欄に寄付の指定項目を記載することができなくなってしまいました。記載がない場合「夢づくり基金」へのご寄付との判断が難しいため、愛実の会への寄付金として取り扱わせていただきます。何卒、人形劇にご支援いただける方は「紙風船夢づくり」とのご記入をよろしくお願いいたします。わかりづらく、お手数おかけして申し訳ありませんが、ご協力お願いします。何かご不明な点等ありましたらお気軽にご連絡ください。

メンバーより一言

毎日毎日暑いですね。

みなさん体調は崩していませんか？8月は初めて病院でのボランティア公演を体験しました。もっと多くの人たちに紙風船の事を知ってもらえたらなあ～と思います。

これからも紙風船をよろしくお願いいたします。

A. Y

<メンバーの思い>

「友だちを作って」

今 利優

僕は今まで親たちと外に出ることが多く、友だちと遊びに行った事がほとんどありませんでした。去年はガイドヘルプを使ってテニスの体験に行ったり、スポーツ大会に出たりもしました。ただ、ガイドヘルプを利用するにしても、行きたい所がなかなか決まらなかったりします。まずは外出をしてどんどん視野を広げていきたいと思っています。

紙風船には学生や社会人のボランティアさんがたくさん来てくれています。活動を手伝ってくれて嬉しいと同時に、友だちが増えてすごく嬉しいです！！紙風船での出会いから、もっと自分の輪を広げていけたらなあと思います。

最後に、僕が一番していきたいことは、友だちを作って、カラオケやボーリングに遊びに行ったり、合コンにも誘ってもらいたいです(^♪ みんな遊びに来てね～！！



<協力者の思い>

「大切にしていきたいこと」

アシスタント 森 一真

紙風船に来て一年と半年が経ちます。一年があっという間に過ぎた気はしますが、それだけ充実した毎日を送っていたということでもあるのでしょう。優しく暖かい雰囲気の中で働けていることにとっても感謝しています。ところでみなさんは「優しい」という言葉について深く考えたことはありますか？ 実は以前少しだけ考えてみたことがあるんです。普段使い慣れてはいるけど、でも結局優しいってどういう意味なんだろう・・・？私はこの【優しい】という言葉の【優】と言う漢字が好きなんです。

【「人」の「憂い(かなしみ)」がわかる】という意味だと理解しています。でも実は【他の人の憂い(かなしみ)がわかる】のは、口で言うほど簡単なものではないとも思います。一つ間違えば「同情」にもなりかねないですしね。だから「優しさ」は「相手の心に同化して一緒に泣き、一緒に悲しむ」、そういう「寄り添い」のようなものかと思ったりします。明確な答えはまだ見つかっていませんが、この気持ちは生涯大切にしていかなければいけないものだと思っています。

改めましてみなさん、これからもよろしくお願いします。

【公演だよ！】

- 第140回 2012年6月29日(金) 有限会社たんぽぽ
紙風船テイルームにて 「ぼくたちにできること」
- 第141回 2012年7月12日(木) さくらん生活園 「ぼくたちにできること」
- 第142回 2012年7月21日(土) NPO法人愛実の会5周年イベント
名古屋国際会議場 国際会議室にて 「かめさんのありがとう」
- 第143回 2012年8月3日(金) ふれあい共同作業所
南区生涯学習センター 視聴覚室にて 「ぼくたちのできること」
- 第144回 2012年8月7日(火) 全国訪問教育研究会
国際会議場 レセプションホールにて 「ぼくたちにできること」
- 第145回 2012年8月18日(土) 北なごやパペットフェスティバル
北名古屋勤労文化会館小ホールにて 「ポンタとたっくん」
- 第146回 2012年8月21日(火) 中京病院 講堂にて 「かめさんのありがとう」

6月～8月にかけて嬉しい事にたくさんの公演をさせて頂く事が出来ました。1時間でのプログラムをという依頼も多く、6月からは、人形劇上演前にペットボトルマジックをとりいれたりと前座にも挑戦してきました。

また福祉施設や病院などで、ボランティア公演も積極的に行い、障がいのあるメンバーや入院している子どもたちが喜んでくれている姿をみて、自分たちも元気をもらうことが出来ました。

秋以降も続々と公演予定も入っています。体調管理には充分気をつけて公演をしていきたいです！！



今後の公演予定

- 2012年 9月27日(木) 社会福祉法人さくらん会 ヨナワールド「ぼくたちにできること」
- 2012年10月 7日(日) ひまわりホールパペットフェスティバル「かめさんのありがとう」
- 2012年11月 5日(月) 日・韓キリスト教「教会と障害者」合同交流セミナー
「ぼくたちにできること」
- 2012年11月18日(日) 三重県いなべ市東員町 障害児・者を守る会
「かめさんのありがとう」「ポンタとたっくん」
- 2012年11月25日(日) 日進市 障がい者団体 詳細未定 「ポンタとたっくん」

詳しくはホームページをご覧ください😊



公演依頼募集中

紙風船では随時公演依頼を募集しています！

小学校、幼稚園、保育園、病院、福祉施設などいけるところには喜んでいきます☆
現在紙風船では、人形劇でたくさんの人を元気にしたい！という思いから、病院や福祉施設等でのボランティア公演も積極的に考えていきたいと思っています！
ぜひ機会がありましたら、紙風船までお問い合わせください！

食を囲む

南 寿 樹

私が新任で赴任した三好養護学校の隣に三好学園という知的障がい児施設があった。古い木造の宿舎と学校の間には5mはあろうかという大きな合掌する手のモニュメント（石造）があった。緑の山を背景に白くそびえる威厳ある姿を見るたびに「やむにやまれずわが子を預けます。どうぞよろしくお願ひします」という母の切なる願ひが自分には聞こえるような気がした。

ところで、初めて担任を持った高等部1年生は、クラスの子8人のうち6人がその三好学園から通っていた。春の遠足の事前指導の時のことだ。「お弁当楽しみだね」と心弾ませる自分に「(学園の生徒の) 弁当は、助六寿司だよ」「いつもそう」「うん、わたしなんか小学部1年の時からずっと同じ」と口ぐちに言う生徒たち。そこには笑顔はなく、会話が切れた。(なぜ助六寿司?) それは食中毒対策に良いからという。そもそも学園に調理員がいたのかもわからないが、ともかく手作りの弁当を作る余裕などないことだけはわかった。(遠足の弁当が楽しみじゃない) ショックと同時にやるせない気持ちに襲われた。その気持ちのまま家に帰り、母にその様子を話した。(当時は同居)すると「弁当のおかずを余分に作るきに(作るから)、寿樹が持って行って分けちゃりや(分けてあげなさい)。まかしちよき(まかせといて)」と高知弁で引き受けてくれた。(南家は両親とも高知出身)私の心はずいぶん軽くなった。

さて遠足の昼食。大きめのビニールシートに車座になり真中に持ち寄った弁当を出し合った。「先生が助六寿司を食べるから、みんな好きなものを食べていいよ」と言っても固まる生徒たち。「他の人の弁当は食べていけない」という指導が叩き込まれているのだろうか…そこで「圭太君の卵焼きと先生の卵焼きを交換しよう」通学生の圭太に提案する。「えー? まあいいよ」と交換が成立。また言葉を持たない悦子の助六寿司の間に強引に唐揚げを入れるとにつこり笑って食べる。少しずつ緊張がほどけ、みんなの手が伸びる。やっときこちなさの中にも和気あいあいの雰囲気生まれる。「おいしいね」「うん」その後はまるで笑顔の花畑のようになった。——このエピソードをわたしは先日参加した「食育推進者養成講座」の講義中に思い出した。

「家族や友人等と一緒に楽しく食卓を囲む機会が減少傾向にある。孤食(ひとりで食べる)の子が増えている」という話を聞いた時だ。(ひとりで食べる…どんな気持ちなのだろう)胸が締め付けられた。高知弁の母は亡くなってから21年にもなる。母は毎朝ご飯とみそ汁と何か1品を用意してくれ家族そろって食べるのが当たり前だった。料理が好きというより料理を食べてくれるのを見るのが好きだと言っていた。だから中学、高校時代、よく同級生や部活(野球部)の友達を招待してパーティを開いた。パーティといっても手作り料理の質素なものだったが「みんなで同じものを食べる」【食を囲む】その時の和やかな雰囲気…自然におしゃべりがはずむ…そのささやかな時間を母は楽しんでた。それこそが母のメッセージだったと思う。

「食は文化」という言葉がある。文化は人と人をつなぐものだとしたら「食を囲む」とは、まさに「人と人の心を笑顔でつなぐもの」だろう。個人がバラバラに分断されそうな現代社会、とりあえず食を囲んで笑顔になり合い、絆を深めたい。さてさて、バーベキューでもしますか?

NPO 愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略)

2012年6月1日～2012年8月31日

★寄付

阿部健二	佐田秀子	佐野都吾	伊藤てい子	前山美恵子	川口いづみ
中森照子	中森由哉	古田正明	古田真喜子	島 一郎	杉本 誠
武井陽一	伊藤幸雄	奥山喜正	伊藤和昭	成瀬絵里子	戸田伊助
山中 高	桂 正枝	藤掛朔生	坂口良彬	比企敦子	宇田ゆき子
矢澤綾子	小島 恵	鄭 成子	藤原信子	西川道子	楽有紀美
江崎敬子	長津 栄	近藤 洋	中本秀行	中本睦美	西口和代
棒葉英子	坂田昌子	清水茂雄	佐々木伸夫	小栗和子	五十嵐ベティ
岩崎武男	犬養光博	青本光子	石田伊志子	臼田治子	加藤由美子
木村淑江	安達清海	伊藤和子	荒竹ひろみ	見木靖美	朽久保濤子
早川教示	脇田純子	小松康宏	榎本久美江	村上裕子	山崎眞由美
金山正一	渡部千枝	佐藤全弘	伊藤あつ子	大村恵子	今枝ミサ子
佐藤康光	佐藤由美	橋本直樹	佐藤千萬子	西村牧子	下村徹嗣
水野享好	河内常男	河内宣子	榊原喜代子	石田利彦	尾崎志満子
二村明美	石川瑤子	竹田朋子	吉岡満智子	足立克己	槍本由美子
真木芳子	宮原祐子	坂下教会			

(社)さふらん会 (社)エゼル福祉会 ルーテル復活教会 メネット会
 南山ファミリーYMCA 南山幼稚園 京都みぎわキリスト教会
 名古屋キリスト教社会館 チャリティ・ウォーカーソン

★紙風船

酒井淳子	町田玲子	中森照子	矢澤綾子	伊藤百合子	荒竹ひろみ
伊藤成美	中森由哉	潮田則行	佐田秀子	長谷川耕司	五十川俊一
斉藤 良	浜嶋一史	北島敦子	赤星実環	石井昌也	牧野みゆき

ご協力ありがとうございました。

引き続きのご支援よろしくお願い致します。

現在、会報の夏号・冬号送付時に寄付金振込用紙を同封させて頂いておりますが、前号より振込用紙の通信欄に寄付先の項目が記載されなくなりましたのでご了承下さい。

「紙風船夢作り」へのご寄付に関しましては、お手数ですが通信欄にその旨を記入して頂きますようお願い致します。(記載がない場合「寄付金」として取り扱います。)

今後とも愛実の会に皆様の引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。



任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分 (順不同・敬称略)

2012年6月1日～2012年8月31日

笠谷恵子 三浦定代 大藪礼子 青本光子 吉谷尚之 (複数回)

ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

【チャリティ・ウォーカーソン寄贈】

去る2012年5月20日(日)長久手にあるモリコロパークにて在日米国商工会議所、名古屋国際学園共催の『チャリティ・ウォーカーソン』が開催されました。そしてこの度、愛実の会へ200,000円のご寄付をいただけることになり、一同大変喜んでおります。ありがとうございます。いただいた費用は法人5周年記念イベントの開催費用・また防災整備等の費用として大切に活用させていただきます。本当にありがとうございます。

【物品寄付】

塚田多佳子様 朝倉知里様 鈴木洋子様 和田かをり様

【ボランティア】

ポール・ケラー様 中山静雄様 同朋大学ボランティアサークルかみふうせん様
メネット会様(給食ボランティア) ルーテル復活教会様(給食ボランティア)

ご支援、ご協力ありがとうございました



【退職者アシスタントの紹介】

2012年8月をもちまして2名のアシスタントが退職されました。
お働きに感謝して、今後のご活躍をお祈りいたします。

女性パートアシスタント：片桐真澄
給食パートアシスタント：木村美智子

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
E-mail info@aminokai.com
ホームページ http://www.aminokai.com

「NPO愛実の会」寄付金のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 101,000円 何口でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形制作費、公演活動に関する費用とする)

* なお「紙風船夢づくり」への寄付の場合は、通信備考欄へ紙風船夢づくりとご記入ください。記載がない場合は寄付金扱いとなります。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。ご利用下さい。